

平成27年度 上越市算数部 活動報告

部長 檜野 博文

1 研究主題

「算数の学力を高める授業の在り方」

～授業の中で算数の学力をいかに向上させるか、日々の実践を通して明らかにする～

2 研究の概要

- (1) 研 修 「教科書の使い方研修」 (参加者数 47名)
- (2) ねらい 教科書が教科の主たる教材である以上、基礎的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等と主体的に学習に取り組む態度を育成するための主たる教材は、教科書である。教科書にある具体的な配慮を見定め意識して指導することで、学力の向上につなげる
- (3) 日 時 平成27年11月11日(水) 14:30～16:45
- (4) 会 場 上越市立中保倉小学校 多目的教室
- (5) 主な内容 講話、グループ協議と質疑応答
講師 学校図書株式会社 第二編集部 小学校算数編集長 吉田 清豪 様
東日本営業部北信越営業所エリアマネージャー 関谷 直人 様

3 研究の実際

教科書の編集の特色を知り効果的に使うことで、学力の向上を図る。上越市内の小学校で使っている算数教科書の特色の1つは、必修ページ(基礎・基本の内容)と、選択ページ(単元の補完、個に応じた指導、発展的な問題に対応する指導)の明確化である。必修ページの内容は以下のとおりである。



- (1) 学びの準備(単元の学習に入る前の準備)…生活経験の振り返りと既習事項の確認
 - (2) 各時間の導入課題…枠囲みで番号の付いた課題が、1時間の始めの課題
 - (3) ページ右脇の側注欄…算数的活動を効果的に進めるための手引き
 - (4) 重要項目のまとめ…博士のキャラクターのある点線の枠囲み
 - (5) 基本技能…写真を用いてスモールステップで説明(作図方法、グラフのかき方、計算の仕方など)
 - (6) 思考力や表現力を育むノート指導…単元の内容に関連させてノートの書き方を提示
 - (7) 練習…単元で学習した内容を習熟するためのページ
 - 力だめし…単元の内容が理解できているかを確認する前の評価問題
 - 力だめしの右側の欄…自己評価とフィードバック
- 研修の後半では、学年別グループでの協議と、教科書編集者を交えて質疑応答を行った。1年「数と計算」領域で扱っているブロックの縦並びと横並びの意図、単元末の練習や巻末ページのサポート・補充問題の解答はあるが、単元末の力だめしの解答がない意図など、日ごろ教科書を使って指導をしている会員だからこそその質問、疑問が出された。また、デジタル教科書は有効な教材だが高価で購入できないなど、学習内容を理解させるために会員が努力している姿がうかがえた。

4 成果と課題

教科書は学力を付けるために工夫された教材であり、教科書をうまく使いこなすことが児童の学力を伸ばす。学習内容の系統性の把握、数学的な考え方の育成など、算数・数学についての指導者の興味とさらなる指導力の向上が課題である。